

第 13 回科学の甲子園ジュニア全国大会山形県 2 次予選開催要項

1 目 的

県内中学生が理科、数学等における複数分野の競技に協働して取り組むことを通じて、科学の楽しさ、面白さを知り、科学と実生活・実社会との関連に気付き、科学を学ぶことの意義を実感できる場を提供することによって、科学好きの裾野を広げるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成する。

※ なお、本選考により県代表となったチームは、第 13 回科学の甲子園ジュニア全国大会への出場権を得るものとする。

2 開催体制

主 催	山形県教育委員会
共 催	国立大学法人山形大学
後 援	県中学校長会、県中学校文化連盟、県中学校教育研究会理科部会
主 管	山形県教育局義務教育課

3 期 日 令和 7 年 9 月 21 日（日）

4 会 場 山形大学基盤教育 3 号館（山形市小白川町 1－4－12）

5 日 程

9：00 ～ 9：20	受 付
9：30 ～ 9：50	開会式
10：00 ～ 11：30	実技競技（実験系・総合系）
11：30 ～ 12：00	競技に関するシェアリング（工夫した点等の意見交換）
12：10 ～ 12：30	閉会式（アンケート記入を含む）
	解 散
13：30 ～ 15：30	代表チーム選考会（採点を含む）

6 出場チーム

科学の甲子園ジュニア全国大会開催要項に準じる。

1 次予選を通過した 5 チームが出場できる。

（1）出場チームは中学 1・2 年生の生徒とする。

（2）出場チームの構成員は 6 名とする。複数校の生徒で構成される合同チームを認める。

7 競技の種類

実技競技を実施する。実技競技は実験系（実験、観察等を行うもの）及び総合系（もの

づくりの能力、コミュニケーション能力等を用いて課題を解決する力を競うもの）を行う。

8 競技形式

- (1) 各チームは3人ずつ2グループ（問題形式によって人数編制に変更あり）に分かれ、実験系と総合系の2つの課題に取り組む。取り組む課題を途中で変えることはできない。
- (2) 競技時間は90分程度（説明10分程度を含む）とする。

9 参加登録

1次予選を通過した5チームは、別添の参加登録要項を参照の上、「参加登録届」を以下により電子メールにて提出すること。

- (1) 提出締切 令和7年9月5日（金）
- (2) 提出先

10 選考結果

- (1) 2次予選終了後、別添選考要項に基づき代表チーム選考会を行う。
- (2) 選考結果については、令和7年10月6日（月）までに、2次予選参加校へ通知する。
- (3) 優勝チームは、山形県代表チームとして令和7年12月に兵庫県姫路市で開催される（予定）全国大会への出場権を得る。

11 代表強化

科学の甲子園ジュニア全国大会に出場する県代表チームの強化を目的として、山形大学等において2回の強化研修会を開催する。県代表に選ばれたチームは本研修会に参加すること。なお、本研修会の参加対象は、県予選に参加したすべてのチームとし、日程や研修会場等の詳細については、県代表チームの所属校と確認の上、別途連絡する。

12 その他

- (1) 2次予選には、原則として教員1名以上が引率することとする。引率教員1名分及び生徒の旅費は、主催者が負担する。
- (2) 引率教員に競技役員を依頼することがあります。その際にご協力をお願いします。
- (3) 合同チームにおいて引率を他校教員等に依頼する場合は、引率教員等の所属長あてに引率依頼を送付し、承諾を得ること。
- (4) 参加生徒については、主催者側で当日損害保険に加入する。
- (5) 全国大会出場にかかる県代表チーム派遣費用等については、原則としてJST（国立研究開発法人 科学技術振興機構）が負担する。